

## 8項 スピニクス研究会(3節 工学研究会,第5章 国際会議・シンポジウム等)

著者	松木 英敏, 島津 武仁, 小川 智之
雑誌名	東北大学電気通信研究所研究活動報告
号	14
ページ	298
発行年	2007
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/40848">http://hdl.handle.net/10097/40848</a>

## スピニクス研究会

主査 松木 英敏, 幹事 島津 武仁, 小川 智之

スピニクス研究会は、微細磁気物性に基づくさらなる磁気工学の発展を創成するために、磁気現象の起源である電子スピンを意識した新しい学問分野(スピニクス)に携わる研究者間の情報交換と討論の場として 1990 年に発足した。本研究会は、最新の話題に関する招待講演を主とした一般研究会と、萌芽的研究に関する討論を主とした一般公募による特別研究会を行っている。本年度は他の研究会との協賛も含め、計 8 回の研究会を開催した。第 1 回は IEEE Magnetics Society Sendai Chapter, IEEE Sendai Section と共催し、3 件の講演が行われた。第 2 回、第 3 回、および、第 4 回は IEEE Magnetics Society Sendai Chapter, IEEE Sendai Section に協賛し、第 2 回では F. Faupel 氏 および IEEE 特任講 V. G. Harris 氏、第 3 回では M. Vazquez 氏、および、第 4 回では M. Bode 氏による講演会を開催した。第 5 回は一般公募による特別研究会を開催し、秋田大学で 2 日間にわたり 30 件の講演が行われ、88 人の参加を得て盛大に開催された。第 6 回は IEEE Magnetics Society Sendai Chapter, IEEE Sendai Section に協賛し、IEEE 特任講鈴木氏による講演会を開催した。第 7 回、および第 8 回は東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究会に協賛し、第 7 回では『放射光を利用した磁性材料研究の新たな展開』と題して SPring-8 中村哲也先生はじめ 3 件の講演が行われ、第 8 回では、『金属ナノ構造体のプラズモニクスとスピンダイナミクス』と題して物材機構武田 良彦先生はじめ 3 件の講演が行われた。本年度の運営は、主査：松木英敏教授（電気・通信）、幹事：島津武仁准教授（通研）、小川智之（特定領域）、企画幹事：山口正洋教授（電気・通信）土井正晶准教授（電子）中村健二助教（電気・通信）菊池伸明助教（多元研）山田洋助教（通研）で行った。